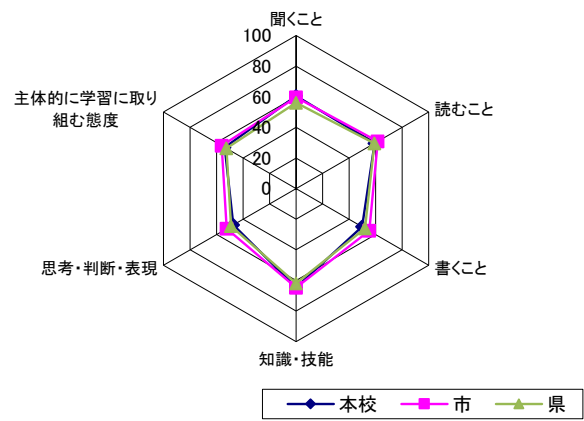


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	60.5	59.6	56.1
	読むこと	59.2	61.6	59.1
	書くこと	49.8	55.2	51.9
観点	知識・技能	64.6	64.7	61.9
	思考・判断・表現	47.3	52.4	49.1
	主体的に学習に取り組む態度	53.8	56.1	52.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率は市、県の平均よりも上回っている。 ○絵の状況を適切に表している英文や、場所を表す対話の聞き取りの正答率が高かった。	・授業の最初に、英語を使って教師と生徒の簡単なやり取りを行ってきたことで、英語を聞く機会が増え、今回の結果につながっていると考えられるため、今後も生徒が興味をもてるような話題をふりながら、やり取りをしていきたいと考えている。また、本校ではチャンツ(リズムを使って英語を発音する)の要素を取り入れた発音練習なども行っており、英語を気持ちよく話せることが、英語を聞くことにもつながっていると考えられるため、今後も継続的に授業の中で取り入れていく。
読むこと	平均正答率は県の平均と同程度である。 ○対話の流れや資料から必要な情報を読み取り、正しいものを選ぶ問題では県の平均よりも正答率が高かった。 ●長文の読み取りや、読み取った内容をふまえて、対話文を完成させるような問題の正答率が低かった。	・対話や長文の中で、大まかな内容を捉えることはできるのだが、細かい部分の読み取りとなると苦手な傾向があるため、速く正確に読み取る練習が必要である。まずは、主語と動詞を意識させ、大まかな内容を捉えさせるとともに、文法事項や基本単語の充実を図りたい。さらに、5分くらいで読める様々な内容・テーマの英文に多く触れさせることで、長文への苦手意識を解消し、短い時間で正確な内容を読み取れるよう指導していく。
書くこと	平均正答率は県の平均より2.1ポイント下回っている。 ○場面に応じて英文を書く問題や、対話の流れに合った英文を書く問題では県の平均より正答率が高かった。 ●3文以上の英作文など、まとまった内容で英文を書くような問題では正答率が低い傾向がある。	・英文をテーマや流れに沿って書くという活動に慣れていない生徒が多いため、まずは自分自身のことを簡単に英語で表現させるような機会を授業の中で意図的に取り入れていく。そして、生徒が書いた英文を添削したり、なかなか書けない生徒に対しては、モデルセンテンスを紹介したりして英語で様々なことを表現できる喜びを感じさせ、自信をつけさせていく。